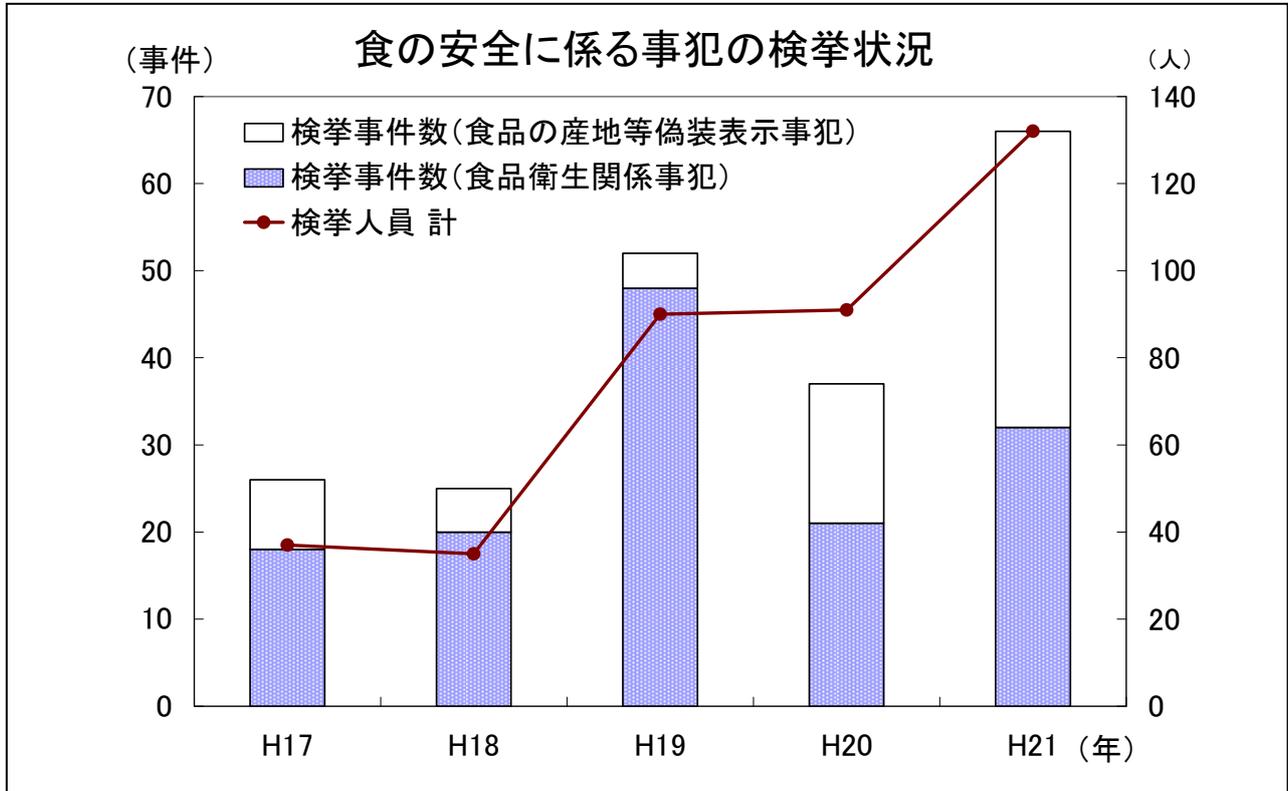


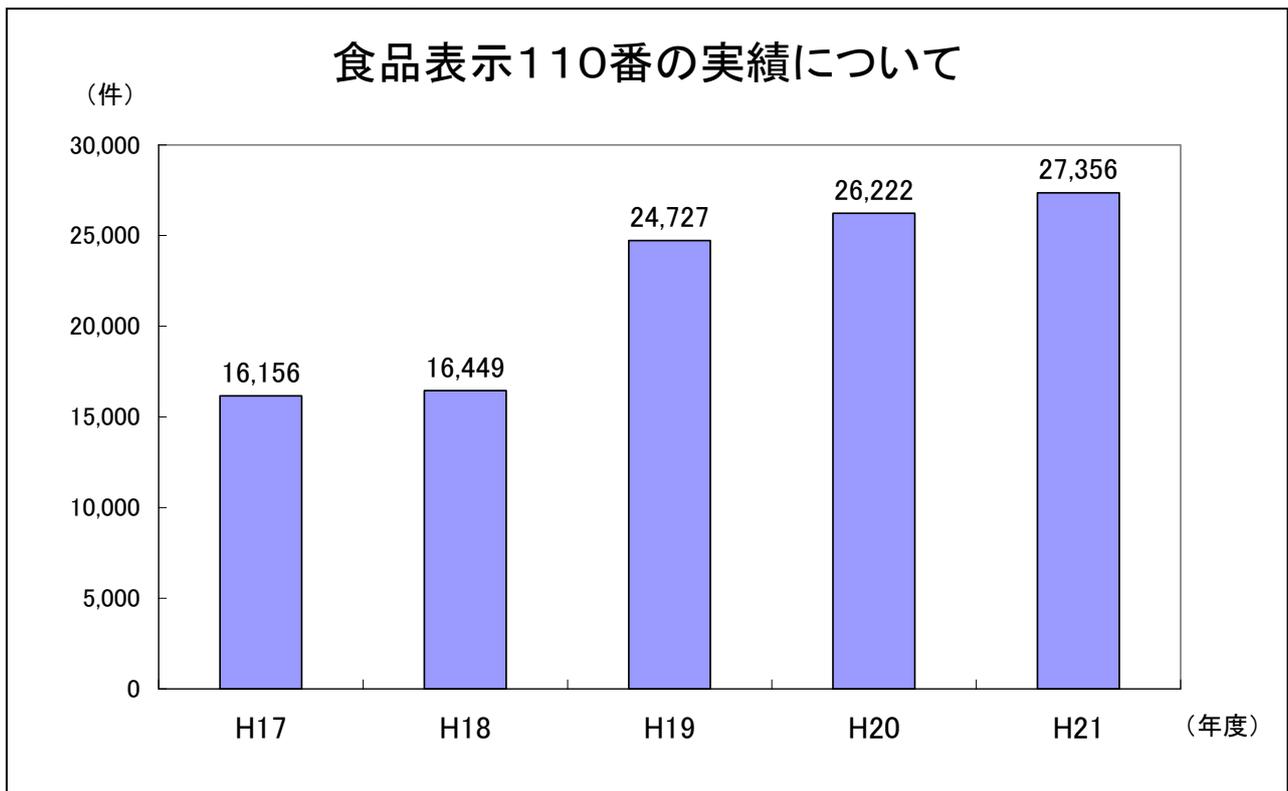
条例制定に係る背景（図表等）

1 食の安全に係る偽装表示等の犯罪に関する情勢

(ア)及び(イ) 検挙事件数（食品の産地偽装表示事犯及び食品衛生関係事犯）

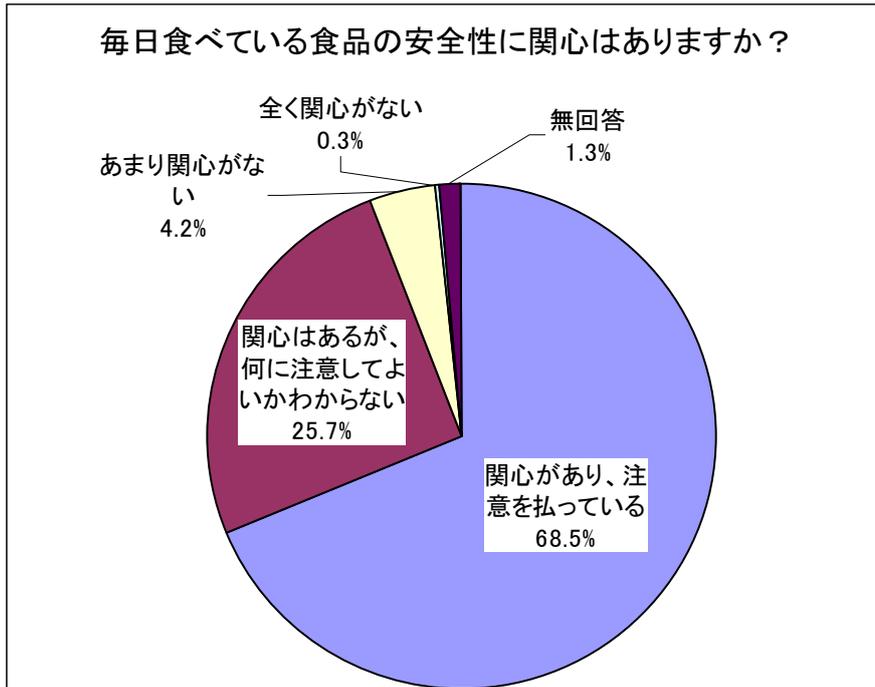


(ウ) 食品表示110番の相談件数

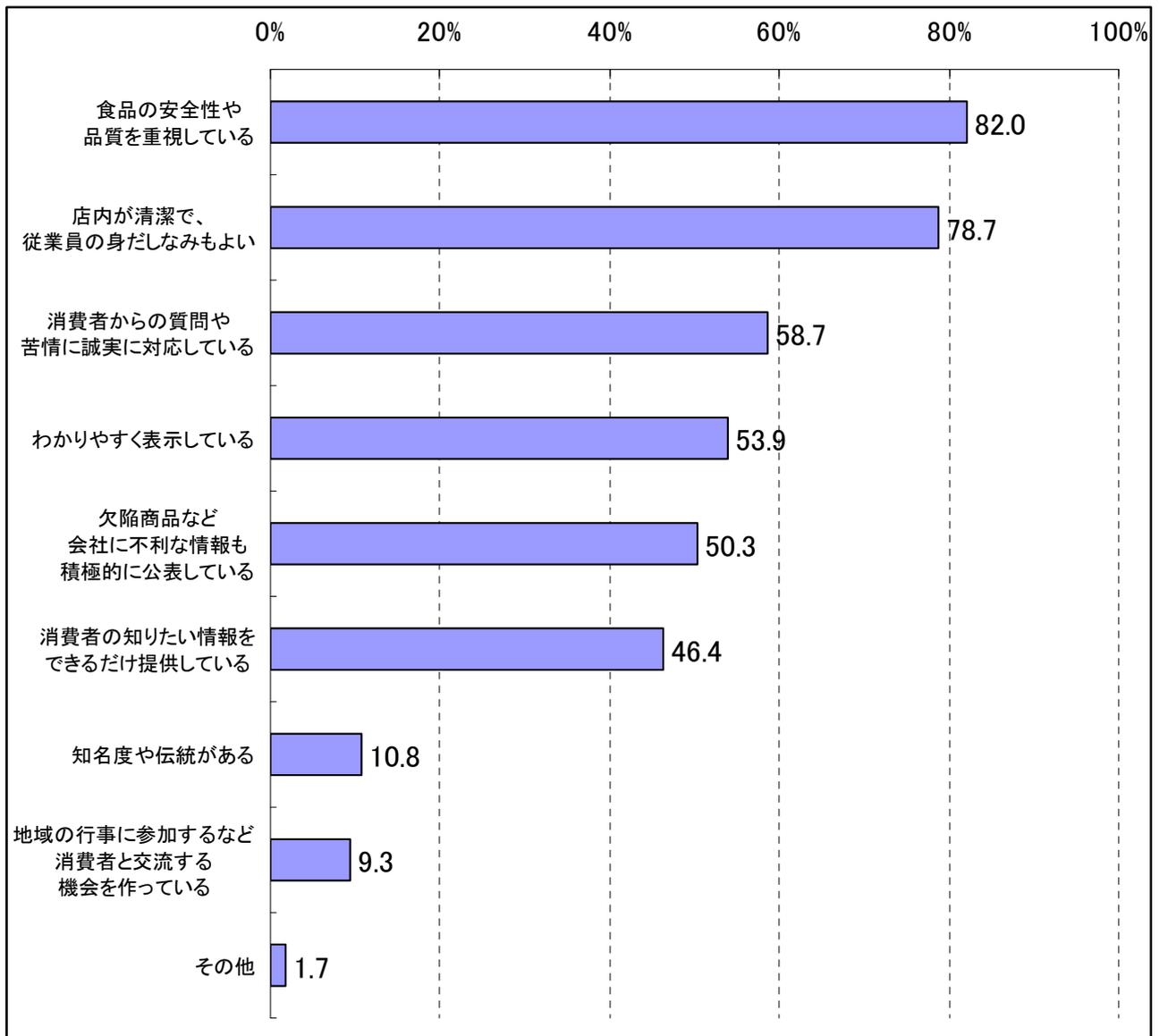


2 市民の意識の現状

(ア) 「市民アンケート（食の安全・安心について）」



(イ) 「市民アンケート（どのような事業者が信頼できるか?）」



3 食の安全・安心に関する地域課題

(1) 調査方法

食の安全・安心に係る市民アンケート	食品関係事業者の食に関する意識調査
【調査対象】「等間隔無作為抽出」で選んだ札幌市 全域の20歳以上の男女10,000人	【調査対象】市内の食品製造・加工事業者、小売業 者、飲食業者
【調査方法】郵送配布、郵送回収	【調査方法】アンケート及びヒアリング
【調査期間】平成20年12月2日～12月26日	【調査期間】平成21年2月下旬～3月中旬
【回答数】5,745通	【回答数】168件
【市民アンケート】	【事業者意識調査】

(2) 地域課題

- 食の安全・安心について感じていることについて（自由意見）の主なもの。
「事業者への不信感、安全確保とモラル向上に関すること」 325人
「監視強化など行政への期待や不満に関すること」 305人
【市民アンケート；記入者数：1710人】
- 消費者に対しての情報→食品の表示等、わかりやすく見やすく消費者の信頼を一つ一つ獲得して参りたい 【事業者意識調査】
- 本当に良い物を真面目に生産した物を消費者にアピールする売り場作りに注力。【事業者意識調査】
- 地場産原料の安定供給（価格も含め）。衛生管理等のコスト増が今後の課題。【事業者意識調査】